

様式第 2 号（概要）（学部学科等の課程）

認定を受けようとする大学の課程の概要

大学名	日本体育大学（学部学科等の課程）							
設置者名	学校法人日本体育大学							
大学の位置	東京都世田谷区深沢 7 丁目 1 番 1 号（体育学部、スポーツ文化学部、児童スポーツ教育学部） 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町 1 2 2 1 番地 1（体育学部、スポーツマネジメント学部、保健医療学部）							
学部名	学科等名	入学 定員	設置年度	認定を受けようとする 免許状の種類 （免許教科・領域）	現在認定を受けている免許状の種類（免許教科・領域） （認定年度）			
					幼・小	中・高	特支	養教・栄教
体育学部	体育学科	800	昭和 2 4 年度			中一種免 （保健体育） （令和元年度）	特支一種免 （知・肢・病） （平成 2 9 年度）	
						高一種免 （保健体育） （令和元年度）		
	健康学科	195	昭和 3 7 年度			中一種免 （保健体育） （令和元年度）		養教一種免 （令和元年度）
						高一種免 （保健体育） （令和元年度）		
スポーツ文化 学部	武道教育学科	90	平成 2 9 年度			中一種免 （保健体育） （令和元年度）		
						高一種免 （保健体育） （令和元年度）		
	スポーツ国際学科	90	平成 2 9 年度			中一種免 （保健体育） （令和元年度）		
						高一種免 （保健体育） （令和元年度）		
スポーツマネ ジメント学部	スポーツマネジ メント学科	245	平成 3 0 年度			中一種免 （保健体育） （令和元年度）		
						高一種免 （保健体育） （令和元年度）		
	スポーツライフマ ネジメント学科	110	平成 3 0 年度			中一種免 （保健体育） （令和元年度）		
						高一種免 （保健体育） （令和元年度）		
児童スポーツ 教育学部	児童スポーツ教 育学科 児童スポーツ教 育コース	120	平成 2 5 年度			小一種免 （令和元年度）		
						中一種免 （保健体育） （令和 5 年度）		
	児童スポーツ教 育学科 幼児教育保育 コース	50	平成 2 5 年度			幼一種免 （令和元年度）		
保健医療学部	整復医療学科	90	平成 2 6 年度	中一種免（保健体育）				
				高一種免（保健体育）				

様式第2号（中・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（中・教科及び教科の指導法に関する科目）														
認定を受けようとする学部・学科等	保健医療学部	整復医療学科	入学定員 90	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 28単位				2. 学 位 学 士（整復医療学）		3. 学位又は学科の分野 保健衛生学関係				
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目					教職専任教員				備考		
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		共通開設		教授	准教授	講師	助教			
				必修	選択	学校種等	学科等							
中一種免 (保健体育)	教 科 に 関 す る 科 の 指 導 法 に 関 す る 科 目	体育実技	運動方法・水泳	1		高 (保健体育)	同						いずれか1科目選択必修	
			運動方法・陸上競技	1		高 (保健体育)	同							
			運動方法・ダンス(フォークダンスを含む)	1		高 (保健体育)	同							
			運動方法・ソフトボール(野球を含む)	1		高 (保健体育)	同							
			運動方法・球技A(ゴール型)	1		高 (保健体育)	同							
			運動方法・球技B(ネット型)	1		高 (保健体育)	同							
			運動方法・体づくり運動(体操)	1		高 (保健体育)	同							
			運動方法・器械運動	1		高 (保健体育)	同							
			運動方法・武道(柔道)	1		高 (保健体育)	同							
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	スポーツ心理学		2		高 (保健体育)	同						
			スポーツ経営管理学		2		高 (保健体育)	同						
			スポーツ史		2		高 (保健体育)	同						
		生理学(運動生理学を含む。)	生理学Ⅰ	2		高 (保健体育)	同	(中里浩一)						
			生理学Ⅱ(生理学実習を含む)	2		高 (保健体育)	同	(中里浩一)						
			スポーツ生理学	2		高 (保健体育)	同	中里浩一						
		衛生学・公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学	2		高 (保健体育)	同							
		学校保健(小児保健、精神保健を含む。)	学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2		高 (保健体育)	同							
			学校安全(救急処置を含む)	2		高 (保健体育)	同							
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目												
		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	体育科教育法	2		高 (保健体育)	他	佐藤浩	(大塚幹太)					
保健科教育法	2			高 (保健体育)	他		大塚幹太							
体育科教育実践法	2			高 (保健体育)	他	(佐藤浩)	(大塚幹太)							
保健科教育実践法	2			高 (保健体育)	他		(大塚幹太)							
●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数				29単位				●教職専任教員数(教科に関する専門的事項)				3人		
B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数(他学科等が開設した授業科目の単位数を記載)				0単位				●必要教職専任教員数(教科に関する専門的事項)				3人		
C. 教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む)				33単位										
D. 教員の免許状取得のための選択科目				4単位										
E. 「開設授業科目の合計単位数」(C+D)－「免許状取得に必要な最低修得単位数」				9単位										

※教職専任教員数には「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（高・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（高・教科及び教科の指導法に関する科目）													
認定を受けようとする学部・学科等	保健医療学部	整復医療学科	入学定員 90	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 24単位				2. 学 位 学 士（整復医療学）		3. 学位又は学科の分野 保健衛生学関係			
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目						教職専任教員				備考
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		共通開設		教授	准教授	講師	助教		
				必修	選択	学校種等	学科等						
高一種免 (保健体育)	教科 に 関 す る 専 門 的 事 項 に 関 す る 科 目	体育実技	運動方法・水泳	1		中 (保健体育)	同						いずれか1科目選択必修
			運動方法・陸上競技	1		中 (保健体育)	同						
			運動方法・ダンス(フォークダンスを含む)	1		中 (保健体育)	同						
			運動方法・ソフトボール(野球を含む)	1		中 (保健体育)	同						
			運動方法・球技A(ゴール型)	1		中 (保健体育)	同						
			運動方法・球技B(ネット型)	1		中 (保健体育)	同						
			運動方法・体づくり運動(体操)	1		中 (保健体育)	同						
			運動方法・器械運動	1		中 (保健体育)	同						
			運動方法・武道(柔道)	1		中 (保健体育)	同						
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	スポーツ心理学		2		中 (保健体育)	同					
	スポーツ経営管理学			2		中 (保健体育)	同						
	スポーツ史			2		中 (保健体育)	同						
	衛生学・公衆衛生学	トレーニング学		2		中 (保健体育)	同		上倉将太 渡邊学				
		生理学(運動生理学を含む。)	生理学Ⅰ	2		中 (保健体育)	同	(中里浩一)					
			生理学Ⅱ(生理学実習を含む)	2		中 (保健体育)	同	(中里浩一)					
			スポーツ生理学	2		中 (保健体育)	同	中里浩一					
	学校保健(小児保健、精神保健を含む。)	衛生学・公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学	2		中 (保健体育)	同						
		学校安全(救急処置を含む。)	学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2		中 (保健体育)	同						
			学校安全(救急処置を含む)	2		中 (保健体育)	同						
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	体育科教育法	2		中 (保健体育)	他	佐藤浩	(大塚幹太)				体育学部、スポーツ文化学部スポーツマネジメント学部、保健医療学部共通開設 体育学部、スポーツ文化学部スポーツマネジメント学部、保健医療学部共通開設 体育学部、スポーツ文化学部スポーツマネジメント学部、保健医療学部共通開設 体育学部、スポーツ文化学部スポーツマネジメント学部、保健医療学部共通開設
保健科教育法			2		中 (保健体育)	他		大塚幹太					
体育科教育実践法			2		中 (保健体育)	他	(佐藤浩)	(大塚幹太)					
保健科教育実践法			2		中 (保健体育)	他		(大塚幹太)					
●単位数 A.「教科に関する専門的事項」の開設総単位数 29単位 B.「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数(他学科等が開設した授業科目の単位数を記載) 0単位 C.教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む) 33単位 D.教員の免許状取得のための選択科目 4単位 E.「開設授業科目の合計単位数」(C+D)－「免許状取得に必要な最低修得単位数」 13単位							●教職専任教員数(教科に関する専門的事項) 3人 ●必要教職専任教員数(教科に関する専門的事項) 3人						

※教職専任教員数には「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（中・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（中・教科及び教科の指導法に関する科目）														
認定を受けようとする学部・学科等	保健医療学部		救急医療学科	入学定員	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数				2. 学 位		3. 学位又は学科の分野			
				80	教科及び教科の指導法に関する科目 28単位				学 士（救急医療学）		保健衛生学関係			
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目				教職専任教員				備考		
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		共通開設		教授	准教授	講師	助教			
				必修	選択	学校種等	学科等							
中一種免 (保健体育)	教 科 に 及 び 関 連 す る 専 門 的 事 業 に 関 連 す る 科 目	教 科 及 び 関 連 す る 専 門 的 事 業 に 関 連 す る 科 目	体育実技	運動方法・水泳	1		高 (保健体育)	同					いずれか1科目選択必修	
				運動方法・陸上競技	1		高 (保健体育)	同						
				運動方法・ダンス(フォークダンスを含む)	1		高 (保健体育)	同						
				運動方法・ソフトボール(野球を含む)	1		高 (保健体育)	同						
				運動方法・球技A(ゴール型)	1		高 (保健体育)	同						
				運動方法・球技B(ネット型)	1		高 (保健体育)	同						
				運動方法・体づくり運動(体操)	1		高 (保健体育)	同						
				運動方法・器械運動	1		高 (保健体育)	同						
				運動方法・武道(柔道)	1		高 (保健体育)	同						
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	スポーツ心理学		2	高 (保健体育)	同							
			スポーツ経営管理学		2	高 (保健体育)	同							
			スポーツ史		2	高 (保健体育)	同							
			トレーニング学		2	高 (保健体育)	同							
		生理学(運動生理学を含む。)	生理学	2		高 (保健体育) ・養護	同							
			スポーツ生理学	2		高 (保健体育)	同							
		衛生学・公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学	2		高 (保健体育) ・養護	同							
		学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	救急医学概論	2		高 (保健体育) ・養護	同	鈴木健介 中澤真弓 増野智彦	成川憲司			原田諭		
			救急処置総論	2		高 (保健体育)	同	(鈴木健介) (中澤真弓) (増野智彦)	(成川憲司)					
			救急処置各論	2		高 (保健体育)	同	(鈴木健介) (中澤真弓)	(成川憲司)			(原田諭)		
			学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2		高 (保健体育) ・養護	同							
			学校安全(救急処置を含む)	2		高 (保健体育)	同							
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目												
		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	体育科教育法	2		高 (保健体育)	他	佐藤浩	(大塚幹太)				体育学部、スポーツ文化学部スポーツマネジメント学部、保健医療学部共通開設	
			保健科教育法	2		高 (保健体育)	他		大塚幹太				体育学部、スポーツ文化学部スポーツマネジメント学部、保健医療学部共通開設	
			体育科教育実践法	2		高 (保健体育)	他	(佐藤浩)	(大塚幹太) (門屋貴久)				体育学部、スポーツ文化学部スポーツマネジメント学部、保健医療学部共通開設	
			保健科教育実践法	2		高 (保健体育)	他		(大塚幹太)				体育学部、スポーツ文化学部スポーツマネジメント学部、保健医療学部共通開設	

●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数	33単位	●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 5人
B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 （他学科等が開設した授業科目の単位数を記載）	0単位	●必要教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人
C. 教員の免許状取得のための必修科目 （選択必修科目の単位数を含む）	37単位	
D. 教員の免許状取得のための選択科目	4単位	
E. 「開設授業科目の合計単位数」（C+D）－「免許状取得に必要な最低修得単位数」	13単位	

※教職専任教員数には「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の教職専任教員は含まないこと。

様式第2号（高・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（高・教科及び教科の指導法に関する科目）															
認定を受けようとする学部・学科等	保健医療学部		救急医療学科	入学定員 80	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 24単位					2. 学 位 学 士（救急医療学）		3. 学位又は学科の分野 保健衛生学関係			
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目					教職専任教員				備考		
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		共通開設		教授	准教授	講師	助教				
				必修	選択	学校種等	学科等								
高一種免 (保健体育)	教 科 に 及 び 教 科 の 専 門 的 事 項 を 指 導 す る 科 目	教 科 及 び 関 連 す る 事 項	体育実技	運動方法・水泳	1		中 (保健体育)	同					いずれか1科目選択必修		
				運動方法・陸上競技	1		中 (保健体育)	同							
				運動方法・ダンス(フォークダンスを含む)	1		中 (保健体育)	同							
				運動方法・ソフトボール(野球を含む)	1		中 (保健体育)	同							
				運動方法・球技A(ゴール型)	1		中 (保健体育)	同							
				運動方法・球技B(ネット型)	1		中 (保健体育)	同							
				運動方法・体づくり運動(体操)	1		中 (保健体育)	同							
				運動方法・器械運動	1		中 (保健体育)	同							
				運動方法・武道(柔道)	1		中 (保健体育)	同							
			「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	スポーツ心理学		2	中 (保健体育)	同							
				スポーツ経営管理学		2	中 (保健体育)	同							
				スポーツ史		2	中 (保健体育)	同							
				トレーニング学		2	中 (保健体育)	同							
			生理学（運動生理学を含む。)	生理学	2	中 (保健体育) ・養護	同								
				スポーツ生理学	2	中 (保健体育)	同								
			衛生学・公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学	2	中 (保健体育) ・養護	同								
			学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	救急医学概論	2	中 (保健体育) ・養護	同	鈴木健介 中澤真弓 増野智彦	成川憲司		原田諭				
				救急処置総論	2	中 (保健体育)	同	(鈴木健介) (中澤真弓) (増野智彦)	(成川憲司)						
				救急処置各論	2	中 (保健体育)	同	(鈴木健介) (中澤真弓)	(成川憲司)		(原田諭)				
				学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2	中 (保健体育) ・養護	同								
				学校安全(救急処置を含む)	2	中 (保健体育)	同								
			教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目												
			各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。)	体育科教育法	2	中 (保健体育)	他	佐藤浩	(大塚幹太) 門屋貴久			体育学部、スポーツ文化学部スポーツマネジメント学部、保健医療学部共通開設			
				保健科教育法	2	中 (保健体育)	他		大塚幹太			体育学部、スポーツ文化学部スポーツマネジメント学部、保健医療学部共通開設			
				体育科教育実践法	2	中 (保健体育)	他	(佐藤浩)	(大塚幹太) (門屋貴久)			体育学部、スポーツ文化学部スポーツマネジメント学部、保健医療学部共通開設			
				保健科教育実践法	2	中 (保健体育)	他		(大塚幹太)			体育学部、スポーツ文化学部スポーツマネジメント学部、保健医療学部共通開設			

●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数	33単位	●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 5人
B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 （他学科等が開設した授業科目の単位数を記載）	0単位	●必要教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人
C. 教員の免許状取得のための必修科目 （選択必修科目の単位数を含む）	37単位	
D. 教員の免許状取得のための選択科目	4単位	
E. 「開設授業科目の合計単位数」（C+D）－「免許状取得に必要な最低修得単位数」	17単位	

※教職専任教員数には「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の教職専任教員は含まないこと。

※教職専任教員欄の網掛けは消去しないこと。

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（中・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする 学部・学科等	保健医療学部	整復医療 学科	入学定員 90	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 4単位	2. 学 位 学 士（整復医療学）	3. 学位又は学科の分野 保健衛生学関係
認定を受けようとする免許 状の種類	免許法施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数			
			必修			
中一種免 (保健体育)	大学が独自に設定する科目				最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得	
●単位数	・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）			0単位		
	・教員の免許状取得のための選択科目			0単位		
	・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計			11単位		

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（高・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする 学部・学科等	保健医療学部	整復医療 学科	入学定員 90	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 12単位	2. 学 位 学 士（整復医療学）	3. 学位又は学科の分野 保健衛生学関係
認定を受けようとする免許 状の種類	免許法施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数 必修 選択			
高一種免 (保健体育)	大学が独自に設定する科目	道徳教育の指導法		2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得	
●単位数	・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）			0単位		
	・教員の免許状取得のための選択科目			2単位		
	・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている 単位数の合計			17単位		

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（中・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする 学部・学科等	保健医療学部	救急医療 学科	入学定員 80	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 4単位	2. 学 位 学 士（救急医療学）	3. 学位又は学科の分野 保健衛生学関係
認定を受けようとする免許 状の種類	免許法施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数			
			必修			
中一種免 (保健体育)	大学が独自に設定する科目				最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得	
●単位数	・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）			0単位		
	・教員の免許状取得のための選択科目			0単位		
	・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計			15単位		

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（高・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする学部・学科等	保健医療学部	救急医療学科	入学定員 80	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 12単位	2. 学 位 学 士（救急医療学）	3. 学位又は学科の分野 保健衛生学関係
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数 必修 選択			
高一種免 (保健体育)	大学が独自に設定する科目	道徳教育の指導法		2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得	
●単位数	・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）			0単位		
	・教員の免許状取得のための選択科目			2単位		
	・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計			21単位		

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（養・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする 学部・学科等	保健医療学部	救急医療 学科	入学定員 80	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 7単位	2. 学 位 学 士（救急医療学）	3. 学位又は学科の分野 保健衛生学関係
認定を受けようとする免許 状の種類	免許法施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数			
			必修	選択		
養教一種免	大学が独自に設定する科目				最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて7単位以上を修得	
●単位数	・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）			0単位		
	・教員の免許状取得のための選択科目			0単位		
	・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計			14単位		

様式第2号（第66条の6に定める科目）

教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目												
認定を受けようとする 学部・学科等		保健医療学部		整復医療学科		入学定員 90		学 位 学 士 （整復医療学）		学位又は学科の分野 保健衛生学関係		
免許法施行規則に定める 科目区分		単位数	左記に対応する開設授業科目				備考					
			授業科目			単位数						
						必修						選択
日本国憲法		2	法学(日本国憲法)			2		中・高一種免(保健体育)教科に関する専門的事項 体育実技と共通 中・高一種免(保健体育)教科に関する専門的事項 体育実技と共通				
体育		2	運動方法・陸上競技			1						
			運動方法・体づくり運動(体操)			1						
外国語コミュニケーション		2	英語コミュニケーションⅠ			1						
			英語コミュニケーションⅡ			1						
数理、データ 活用及び人工 知能に関する 科目又は情報 機器の操作	数理、データ活用及び 人工知能に関する科目	2										
	情報機器の操作		情報処理(情報機器の操作を含む)			2						

様式第2号（第66条の6に定める科目）

教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目											
認定を受けようとする 学部・学科等		保健医療学部		救急医療学科		入学定員 80		学 位 学 士 （救急医療学）		学位又は学科の分野 保健衛生学関係	
免許法施行規則に定める 科目区分		単位数		左記に対応する開設授業科目				備考			
				授業科目		単位数					
						必修	選択				
日本国憲法		2		法学(日本国憲法)		2				中・高一種免(保健体育)教科に関する専門的事項 体育実技と共通 中・高一種免(保健体育)教科に関する専門的事項 体育実技と共通	
体育		2		運動方法・陸上競技		1					
				運動方法・体づくり運動(体操)		1					
外国語コミュニケーション		2		英語コミュニケーションⅠ		1					
				英語コミュニケーションⅡ		1					
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作		2									
				情報処理(情報機器の操作を含む)		2					

様式第2号（中高・教育の基礎的理解に関する科目等）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（中高・教育の基礎的理解に関する科目等）											
認定を受けようとする学部・学科等	保健医療学部		整復医療学科 救急医療学科	入学定員合計 170	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教育の基礎的理解に関する科目等 中一種免27単位、高一一種免23単位		2. 認定を受けようとする免許状の種類 中高一種免（保健体育）				
開設体制	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目			教職専任教員				備考
	科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数 必 選	共通開設 学校種等	教授	准教授	講師	助教	
大学において 共通開設 ○中一種免(保健体育)・高一一種免(保健体育)：体育学部体育学科・健康学科/スポーツ文化学部武道教育学科・スポーツ国際学科/スポーツマネジメント学部スポーツマネジメント学科・スポーツライフマネジメント学科 ○養教一種免：体育学部健康学科 共通開設する学科等の入学定員の合計（今回申請する学科等以外も含む。） ○中一種免(保健体育)・高一一種免(保健体育)：1,700人 ○養教一種免：245人	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	養	(半田勝久)	青柳宏幸			
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教師論	2	養		(青柳宏幸)			
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育の制度と経営	2	養	半田勝久				
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	養		齋藤雅英 市川優一郎			
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	2	養		(齋藤雅英)			
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	養					
		道徳、総合的な学習の時間等に関する科目		道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳教育の指導法	2	養		(青柳宏幸)	
	総合的な学習（探究）の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	養						特別活動の指導法を含む	
	特別活動の指導法										
	教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む)	2	養			(齋藤雅英) (市川優一郎)			情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法										
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む)	2	養			(齋藤雅英) (市川優一郎)			進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談(カウンセリングを含む)	2	養			(齋藤雅英) (市川優一郎)				
	教育実践に関する科目	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法									事前事後指導1単位含む
		教育実習	中5 高3	教育実習(事前事後の指導を含む)	5		(佐藤浩) (半田勝久)	(大塚幹太) (門屋貴久) (齋藤雅英)			
		学校体験活動									
			教職実践演習	2			(佐藤浩) (半田勝久)	(大塚幹太) (門屋貴久)			

●単位数	・教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む)	中29単位／高27単位	●教職専任教員数（教育の基礎的理解に関する科目等）	中4人／高4人
	・教員の免許状取得のための選択科目	中0単位／高0単位	●教職専任教員数（各教科の指導法）	中（保健体育）3人
	・開設授業科目の合計単位数－免許状取得に必要な最低修得単位数	中2単位／高4単位		／高（保健体育）3人
			●必要教職専任教員数	中4人／高4人

※教職専任教員欄の網掛けは消去しないこと。

様式第2号（養・教育の基礎的理解に関する科目等）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（養・教育の基礎的理解に関する科目等）													
認定を受けようとする学部・学科等		保健医療学部		救急医療学科		入学定員 80		1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教育の基礎的理解に関する科目等 21単位		2. 学 位 学士（救急医療学）		3. 学位又は学科の分野 保健衛生学関係	
開設体制	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目			教職専任教員				備考		
	科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数		共通 開設 学校 種等	教授	准教授	講師		助教	
					必	選							
大学において 共通開設 ○中一種免(保健体育)・高一種免(保健体育)：体育学部体育学科・健康学科/スポーツ文化学部武道教育学科・スポーツ国際学科/スポーツマネジメント学科・スポーツライフマネジメント学科 ○養教一種免：体育学部健康学科 共通開設する学科等の入学定員の合計（今回申請する学科等以外も含む。） ○中一種免(保健体育)・高一種免(保健体育)：1,700人 ○養教一種免：275人	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育原理	2		中高(保健体育)	(半田勝久)	青柳宏幸			事前事後指導1単位含む	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教師論	2		中高(保健体育)	(青柳宏幸)					
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育の制度と経営	2		中高(保健体育)	半田勝久					
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		中高(保健体育)		齋藤雅英 市川優一郎				
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	2		中高(保健体育)		(齋藤雅英)				
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2		中高(保健体育)						
	及び道徳、生徒指導的、総合的な学習の時間に関する指導科法	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	6	道徳教育の指導法	2		中高(保健体育)		(青柳宏幸)				
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		2		中高(保健体育)							
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		2		中高(保健体育)		(齋藤雅英) (市川優一郎)					
		生徒指導論（進路指導・キャリア教育を含む）		2		中高(保健体育)		(齋藤雅英) (市川優一郎)					
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		2		中高(保健体育)		(齋藤雅英) (市川優一郎)					
	教育の実践に関する科目	養護実習	5	養護実習（事前事後の指導を含む）	5			鹿野晶子					
		学校体験活動											
		教職実践演習	2	教職実践演習（養護教諭）	2			(鹿野晶子)					
	●単位数		・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 29単位 ・教員の免許状取得のための選択科目 0単位 ・開設授業科目の合計単位数－免許状取得に必要な最低修得単位数 8単位						●教職専任教員数(教育の基礎的理解に関する科目等) 5人		●必要教職専任教員数 4人		

※教職専任教員欄の網掛けは消さないこと。